

第54回認定(令和元年11月8日認定分) 地域再生計画の概要

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域	地域再生計画の概要	活用する支援措置	計画本文
1	秋田県	秋田県鹿角市	鹿角市文化遺産を生かした着地型観光推進プロジェクト	秋田県鹿角市の全域	種々の観光産業を確立するため、観光拠点施設を世界級の文化遺産を前面に押し出して改修し、本市での滞在時間と観光消費の増加を実現する。具体的には、施設を老朽化を防止し観光客が安心して滞在できる環境を整備することである。観光客の増加を促すため、展示場の展示替え工事により観光客の増加を図る。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
2	茨城県	茨城県小美玉市	「おみたまっ子」を育てる幼小・児童教育モデル事業	茨城県小美玉市の区域の一部(美野地区)(詳細は内閣府において閲覧に供する。)	市が抱える問題として、子どもの数が減少している一方で、小学校入学後の生活の変化に対応できにくい子どもが増え、特別な支援を必要とする子どもの数は、年々増加している状況である。子どもの内面に強く働きかけるには、幼少期から小学校への段階が小さくなり、すべての子どもが乗り越えられる最善の方策として、小学校校舎内に幼稚園児室を設置する幼小一貫校を整備する。	補助金で整備された公立学校施設の財産処分手続きの弾力化	計画本文
3	茨城県	茨城県猿島郡境町	「河岸の街がきれい」復興プロジェクト～地場産品付加価値向上事業～	茨城県猿島郡境町の全域	本町では、観光振興を中心とする地域経済の活性化を図るべく、そのけん引役として平成28年9月に株式会社さいまづくり公社を設立した。同社の事業展開には農産物の存在が不可欠なものとなっているが、農業従事者等を確保できていない現状があり、これを確保することで農産物の活力を維持し、ひいては地域全体の活性化につなげていくため、地場産品を活用した健康食品を含む加工商品の開発開発及び生産販売をおこなうとともに、特色ある地場産品の生産をおこなう。また、PR活動を行うことで、販路拡大につなげていく。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
4	千葉県	千葉県木更津市	「人と地域をスポーツで繋ぐ」中郷中学校跡地活用プロジェクト	千葉県木更津市の全域	平成31年3月31日をもって廃校となった旧中郷中学校を、民間の活力を導入し、有効活用を図る。跡地活用事業は、スポーツの振興、健康増進、産業振興、福祉の向上、雇用促進、その他住民サービスの向上等、地域振興に資するものを目的とし、木更津市を拠点として活動している民間スポーツ事業者によるスポーツを中心とした地域活性化を図る。	補助金で整備された公立学校施設の財産処分手続きの弾力化	計画本文
5	東京都	東京都町田市	芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト	東京都町田市の全域	近年、他市の近隣駅や郊外への商業機能の集積が進んでおり、町田市の中心市街地における賑わいの低下が懸念されている。中心市街地から徒歩で行ける芹ヶ谷公園が存在感を増すことで、町田からの回遊性が生まれ、中心市街地の賑わいの創出につながる。芹ヶ谷公園の魅力を高め、集客力の向上を図ることが課題である。こうした現状と課題を踏まえて、芹ヶ谷公園を「芸術の杜」をテーマに再整備する。この再整備を機に、芹ヶ谷公園を一つのブランドとして確立させ、多くの人が訪れる公園とする。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
6	神奈川県	神奈川県中部二宮町	町民が造って学ぶ、子どもと大人が楽しめる未来はらっぱプロジェクト	神奈川県中部二宮町の全域	保育園や学童といった子育て拠点に近接し、自然遊びやスポーツ、歴史学習や農業体験といった多様な活動が可能で、親等の団体が同時に活動できる広さや平地を有し、その後の福祉や商業などの政策連携も可能な幹線道路に近いなどといった立地的要件を満たすのは、二宮町で東大跡地しかない。この東大跡地を行政が管理する都市公園では実現できない。自由度が高く、幅広い活動ができる子育ての一大拠点として事業を展開する。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
7	新潟県	新潟県新発田市	大倉喜八郎スビリック「進一館」で進む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト	新潟県新発田市の全域	大倉喜八郎が国内外の賓客をもてなすため、向島に建築した別邸『蔵春閣』が、当市に寄附される。喜八郎の精神にあやかり、人口減少という困難に對し、新たな歴史・文化を刻んでいくため、『蔵春閣』の移築・復元を契機として、市民参画や、共感する民間事業者などを巻き込むなど、新たなまちづくりのパートナーシップの構築により、新発田駅前エリアの活性化を目指す。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
8	石川県	石川県小松市	九谷焼の明日を拓くプロジェクト(第2次)	石川県小松市の全域	九谷焼の明日を拓くプロジェクト(第1次)に続き、九谷焼産産全体に新たな仕事・雇用を創出し、九谷焼産産の再構築・稼ぐ力の強化、交流人口の拡大を目指す。老朽化した土師の修繕・環境改善を行い産産の基盤を強化。併せて観光客等の受け入れのため、フロア環境を整備し見学スペースを確保。また、高元オリジナル商品の企画・開発や、九谷セラミック・ラボラトリーを核とした産産観光の充実を図る。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
9	石川県	石川県かほく市	かほくオンリーワンの資源を活かした市の魅力発信プロジェクト	石川県かほく市の全域	かほく市にある「石川県西田幾多郎記念哲学館」の魅力を広く効果的に発信することで、観光拠点として交流人口の増加と、市民の交流拠点としての更なる利活用を進めることで、新たなひとの流れを呼び込むとともに、市民の郷土愛の醸成を図り、転出の抑制及び定住の促進につなげる。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
10	長野県	長野県下伊那郡根羽村	森と水の豊かさを守る、持続可能な(サステナブル)な山づくり推進プロジェクト	長野県下伊那郡根羽村の全域	本プロジェクトでは、山林や農地の荒廃地増加を防ぐとともにそれぞれの持つ機能を最大限に発揮させ、各作りの水質を向上させる。山づくりを目的としてアクションします。持続可能な環境に最大限の配慮を行いながら、人員確保、木材流通量増加を目的とした経済性も求め、健全な山、水、空気を確保する環境づくり、環境保全学習の受け入れ等を通じて山づくりを通じた水保全の重要性を村内外へ発信します。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
11	福岡県	福岡県宗像市	まちの資源を活用した宿泊型スポーツ大会開催による人的交流と経済の活性化事業	福岡県宗像市の全域	ラグビーワールドカップ、東京オリンピック、パラリンピック等の大規模国際スポーツ大会開催を控え、その機運が高まりつつある。本市においては、ナショナルチームの合宿の受け入れを開始し、市民との交流機会の拡大を目指している。本計画では、まちの資源を活用した宿泊型スポーツ大会開催による人的交流と経済の活性化を図ることで、スポーツ観光における交流事業の効果を高め、市内消費に繋げることを目的として実施する。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
12	福岡県	福岡県朝倉郡東峰村	棚田保全から始まる「tana da-a-life」プロジェクト	福岡県朝倉郡東峰村の全域	村の基幹産業である農業のうちでも、重要な観光資源である棚田や景観を再生することによって、棚田や棚田酒などの六次化ブランドの推進、生産効率向上のための農業者あるいは農業者の導入、都市部企業をターゲットにした棚田での農業体験による関係人口の創出、更に村の新たな資産として、棚田カフェや棚田が見える古民家宿泊施設の整備など、美しい風景である棚田を活用した、新しい「tana da-a-life」の創出による、多様な交流を活性化させる。新しいひとの流れを呼び込むことで企業と当時の持続的な関係構築を目的とする。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
13	佐賀県	佐賀県武雄市	～令和元年8月豪雨災害からの復興に向けて～人にやさしく心豊かに暮らせるまちづくり事業	佐賀県武雄市の全域	令和元年8月豪雨災害は本市に大きな被害をもたらすと同時に、市全域において市民生活の質の低下や農業、観光等の産業に大きな影響を及ぼしている。被災された皆様が一日も早く生活再建を果たし、農業や観光など地域産業の早期回復と更なる発展を目指し、災害に強い安全安心で暮らしやすいまちづくりを進め、人口減少や観光客の減少防止を目的とし、これを目標とし、定住促進や産業振興に係る事業に取り組む。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文
14	鹿児島県	鹿児島県鹿屋市	子育て広場設置事業	鹿児島県鹿屋市の全域	子どもが安心して遊べ、子ども同士、保護者同士の交流の場作りをする。保護者がリフレッシュできる時間・空間づくり等を行うことで、子育ての進め、人口減少や観光客の減少防止を目的とし、これを目標とし、定住促進や産業振興に係る事業に取り組む。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に關連する寄附を行った法人に対する特例	計画本文